

2026 年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:日本語)

(社会学研究科 専攻共通)

2026 年 2 月 21 日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1

第1問

日本では、小学校から大学までのほとんどの学校で、その学校に属する人びとで歌われる「校歌」と呼ばれるオリジナルの歌が制定されている。以下はその校歌について論じた文章の一節である。これを読んで、続く問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(渡辺裕『校歌斉唱！—日本人が育んだ学校文化の謎—』)

問1

下線部①から⑤までの漢字の読みを書きなさい。(5×3点)

① 公 ② 氣勢 ③ 不可分 ④ 離合集散 ⑤ 先鞭

問2

下線部⑦から⑩までのカタカナを漢字に直しなさい。(5×3点)

⑦シキテン ⑧キボ ⑨タイショウテキ ⑩テンケイ ⑪イジ

問3

二重下線部「そういう意味では」とは、どういうことか。簡潔に説明しなさい。(20点)

問4

波線部「なんだかとてもよく似ていると思いませんか?」とは、何と何がどのような点で似ているというのか。説明しなさい。(20点)

第2問

次の文章を読んで、文中にある「言語決定論」と「言語相対論」の違いを300字以内にまとめなさい。(30点)

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(1291字)

(石黒圭『日本語は「空気」が決める—社会言語学入門』)